

感染の拡大防止急げ

鳥インフル 荒木氏らが要望、視察

愛知・新城市



市クリーンセンターを視察する荒木氏(中央)ら15日 愛知・新城市

高級地鶏の名古屋コ
ーチンなどを飼育する
愛知県新城市の養鶏場
で高病原性鳥インフル
エンザH5亜型ウイルス
スへの感染が確認され
た問題で、公明党愛知
県本部の鳥インフルエ
ンザ対策本部の荒木清
寛本部長(参院議員)
は15日、同市役所に穂
積亮次市長を訪ね、感
染拡大防止対策や被害

農家への支援を強く要
望。さらに、感染が見
つかった養鶏場と殺処
分した約1万7500
羽を焼却処分する同市
のクリーンセンターを
視察した。

これには、同対策本
部の伊藤渉副本部長、
わたらい克明事務局長
(県議)、鈴木真澄・
新城市議が同行した。
愛知県で高病原鳥イ

ンフルエンザへの感染
が確認されたのは豊橋
市に次いで2例目。
荒木氏は同市長に
対し、①感染拡大防止
対策の徹底と監視体制
の強化②風評被害の拡
大防止③殺処分を行っ
た養鶏事業者、移動制
限によって被害の発生
する事業者や農家への
十分な経済的支援―
などを早期に講じるよ
う申し入れた。